

7年目に入りました。
いつもお読みいただきありがとうございます。

U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

【 は じ め に 】

近畿事業推進部の川畑です。

桜が咲き始めました。卒業式、入学式に「桜」、いいですね。近くの公園を散歩して、桜の開花に遭遇しました。毎年愉しませてくれます。

開花時に生憎の雨で花見を愉しむ人は少ないですが、雨の桜もまたいいですね。新年度の始まり、いいスタートを切りたいですね。

毎年、年度が替わるこの時期は電話対応コンクールの問題発表があります。

新型コロナ禍で参加企業、参加者が減ってきています。これをなんとかしたいと、昨年の全国大会終了後からいろいろな取り組みをしてきました。

その一つが、いま話題のお絵描きムービーを使った「電話対応コンクールの紹介」です。登場人物は、とある社長が2人。電話対応に困っている社長が、友人の社長と話をしている電話対応コンクールを知ります。

詳細は各支部HPの最新情報「電話対応コンクールの紹介動画をご覧ください」をクリックしてください。

すぐご覧になりたい方は、<https://www.youtube.com/watch?v=RJPLxeMboAg> をクリックしてください。右の画像をクリックしてもご覧いただけます。

ぜひ、お知り合いの方へご案内ください。

現在、セミナーや研修等、いろいろと準備中です。

新年度もどうぞユーザ協会の活動をご活用ください。

今月もU協近畿通心を愉しんでいただけると嬉しいです。



近くの公園の桜が咲きました。
毎年愉しませて頂いています。
桜みているとウキウキした気分になるから不思議です。



【 ICT用語豆知識 「ChatGPT」をご存じでしょうか 】

「ChatGPT」とは、OpenAIが公開した高度なAI技術によって、**人間のように自然な会話ができるAIチャットサービス**です。2022年11月に公開され、たちまち無料で利用できる革新的なサービスとして注目を集め、生成した文章の見事さや人間味のある回答がSNSなどで大きな話題となっています。

その後、勢いを増したサービスは、リリース後わずか**2か月でユーザー数1億人を突破**しました。

UBSの分析によると、**ChatGPT**がアクティブユーザー**数1億人に到達**するのにかかった時間は、TikTokとInstagramがそれぞれ**9か月**と**2年半**であるのに対して、**2か月と史上最速**です。凄い早さです。

2023年に入ると米国Microsoftが開発元のOpenAIに対して100億ドルを投資することが報じられるなど、機能面だけでなく成長性でも注目されています。

ChatGPTを使ったスタートアップも現れています。一緒に泣いたり、笑ってくれる世界初のAIチャット友達の**レプリカ**、医師の音声デジタル(AI)アシストの**スキ**、メンタルヘルスケア用チャットサービスの**ウーボットヘルス**、チャットボット作成ツールの**ランドボット**などです。凄いですね。

日本でも注目を集め、3月14日に**ChatGPT**を実装した企業の株価がストップ高になるくらい株式市場でも注目されています。

ChatGPTは、小説の自動生成やゲームでの会話を生成する用途で開発された「**GPT**」という言語モデルがベースになっています。**GPT**は、与えられたテキストの指示に対して自然言語を生成するAIで、**インターネット上にある膨大な情報を学習し、複雑な語彙・表現も理解できるのが特徴**です。

更に過去の会話内容を記憶したり、内容に誤りがあった場合はユーザーが訂正したりできるなど、**より自然な会話に近づくための機能が搭載**されています。

現在も改良が加えられており、最新はChatGPT-4.0です(2023年3月14日時点)。

昨年5月に大前さんに学んだ「第四の波」が来てますね。

先月は第102回「励ましの言葉」（2022.9.15）をご紹介しました。

今回は第103回「人間はことばで生きてきた」（2022.10.17）をご紹介します。

「人間が生きて行く上で、なくてはならないものを四つ挙げなさい」と問われた数十人の学生たち。その多くが「スマホ」を挙げていたそうです。さもありませんと思いつつも、この選択には複雑な思いがいたしました。正解があるわけではありませんから、水、空気、食料に続く4番目に、「スマホ」と書いても問題はないのですが、この調査が期待していた答えは「**コミュニケーション**」だったのです。「**仲間は食料より尊し**」サモア諸島の一種族に伝わるこんな格言を思い出しました。これも同じように人間関係の大切さを説いています。ただ私が挙げた今回4つ目のキーワードは「ことば」なのです。

「人類は、ことばを持ったことで生き延びてきた」

巨大な地殻変動や、生きものの熾烈しれつな生存競争の中で、人類の祖先がしぶとく生き延びてきたのは、二足歩行によって脳が発達し、ことばを持つに至ったからだと言われます。ことばが科学技術を生み、産業経済を育て、豊かな知恵と強力な団結力で、地球の生きものを支配してきたのです。

しかし、21世紀に入ってから科学技術の急速な進歩には、歯止めの利かない怖さを感じます。

人間が、自ら作ったコンピューターを制御できなくなるのではないか。片や、一步間違えれば地球の破滅を招く核開発が、今もいくつかの国で続けられていることです。その不安の根源の一つに、**ことばの軽視がある**と私は考えます。**国の内外を問わず、理解し合えない言葉、信頼できない言葉が満ち溢れているのです。**

増える会話のない世界

理解を無視して、IT機器の開発が暮らしやビジネスの変化を先導しています。ことばレスのデジタル機器が、先を争うように増えています。一言も口をきかなくても、仕事は回っていきます。買い物もできます。医療も受けられます。レストランでは、接客ロボットが無言で店内を動き回っています。福祉社会という視点で見れば、それは大きな進歩かも知れません。

しかし、この便利さの陰には必ず失ってゆくものがあるはず。その失ってゆくものについてしっかり考えることが、真の幸せな進歩をもたらすでしょう。

口に入れるものより、口から出すものが大事だ

話が飛びますが、ある時、イエス・キリストの数人の弟子たちが、師を囲んで話をしていました。「あれは体に悪いから食べないほうがよい」「これは今は甘くて美味しいが、収穫時期を間違えるとひどい目に遭うんだぞ」黙って弟子たちのやり取りを聴いていたキリストが言いました。「お前たちは口に入れるものことばかり言っているが、**大事なのは口から出すもののほうなのだ**」つまり何をどう言うかが大事なのだと諭したのです。

私たちの思考を支えるのはことばです。私たちはことばを聴き、ことばで考えます。そして感情や思考をことばで伝えます。**ことばが貧困だと、思考も感情も貧困になります。豊かなことばを持っている人は、発想も知恵も豊かです。**

今こそ電話の時代

今さらの反省ですが、3年近く続くコロナ禍、そしてそれと並行して進んだテレワークなどの仕事の仕方の変化。また、その利便性、効率性ゆえに、一気に普及の進んだオンラインによる会議、研修、営業、打ち合わせなどは、対面によって人とつながる機会を激減させました。

このことの評価は分かりますが、大別して、私の交友関係では、経営者や管理者層、デジタル機器を駆使しているIT系人間の多くは是ぜとし、それ以外の営業、サービス業、教育、福祉などの感情労働系の人、人間が読めないと概して否定的でした。いずれにしても、ことばによる発信力を、質量ともに弱めたのは事実です。人間は運動不足になると、足腰の筋肉、骨、呼吸器官、脳まで劣化します。話しことばもそれと同じで、**話さなければ会話力、対話力は落ちます**。傾聴力も判断力もインプロ※力も、そして表現力も話力も委縮します。**今はことばについて考え、それを鍛え直す時期にいるように思います。**

「話しことばを磨くには、日々の電話に優るものはありません」電話応対技能検定（もしもし検定）の初代検定委員長であった水谷 修さんのことばです。15年前のことですから、電話を取り巻く状況は大きく変わりました。しかし、その精神は変わりません。

※インプロ：インプロヴィゼーションの略で、シナリオやマニュアルにはない「アドリブ」のこと。

前回は家庭でもビジネスでも。さまざまなシーンで活躍しているサービスロボット(2022.10.17)」をご紹介しました。今回は「サービスロボットの課題と未来像(2022.11.15)」をご紹介します。

10月号、11月号で紹介してきた通り、**サービスロボットは生産効率を飛躍的に上げ、労働者の時間的な余裕を生み出します**。そして現在、日常生活やさまざまなビジネスシーンにおいてサービスロボットが活躍しています。しかし、サービスロボットのさらなる普及、活用を進めていくためには、解決していかなければいけない課題があります。最終回となる今回は、その課題と未来像について解説していきます。



ロボット業界の抱える二つの課題

ロボット業界が抱える課題には、大きく分けて**二つの課題**があります。一つは「**技術者不足**」。もう一つは「**ユーザーのロボットに対する知識や理解力(=ロボットリテラシー)不足**」です。一つ目の課題、技術者不足の原因は、人口減少による働き手不足という点と、技術者を育ててこなかった国の失敗という二つの点があります。人口減少の問題はここで解説するまでもないでしょう。問題は後者の国策の失敗です。

日本は過去何十年にもわたり技術者を育ててきませんでした。ロボットを開発するには機械の知識だけではなく、制御ソフトウェアの知識も必要になります。また、場合によっては心理学の知識や動物の知識も必要です。つまり、深く幅広い知識が開発技術者に求められるということです。そんな高い能力が求められる技術者ですから、国が本気で教育改革を行うなど本格的に取り組まなければ技術者を揃えることはできないのです。

次に、二つ目の課題である、ユーザーがロボットについてよく知らないというのも大きな問題です。Amazonは物流ロボットのおかげで今やEC小売で一人勝ち状態です。しかし、なぜ他社はそうしなかったのでしょうか？物流は単純作業が多く、普通に考えたら「ロボット」というアイデアが出てきても良さそうです。しかし、そうはなりませんでした。なぜか。その原因は、**他社のロボットリテラシー不足**にあったと考えられます。

ロボットは未来の救世主

ロボットの未来は明るいと筆者は考えています。

先に挙げた課題があるとはいえ、ロボットはまさしく救世主です。**ロボットの活用によって、ユーザーは同じ時間で多くの利益を稼ぐことができます。ロボットは重労働や危険作業を肩代わりします**。これによりケガや病気、事故が軽減され、労働者がより健康になります。**労働者の健康は生産性の向上につながり、多くの利益を生み出します**。利益向上は給与向上につながります。給与が向上すれば市場が盛り上がります。



給与が上がりながらも、自分たちの働く時間は減る。ロボットはそんな未来を形づくりします。これは決してユートピアではなく、現実に見えている世界です。**オランダは世界に先駆けてスマート農業を進めています**が、**トマト栽培においては、その生産効率は日本の平均的な農家の約8倍とも言われています**。日本のトマト農家が8時間かけて稼ぎ出す収益をオランダの農家は1時間で稼いでしまうということです。どうでしょうか？これはロボットがもたらす未来のほんの始まりです。**全人類がロボットによって幸せな方向に変わっていくのです**。

これまでの連載で全三回にわたってロボットについて解説してきました。

すでに使われているものもあれば、もう少し未来にならないと実現しないものもあります。ロボットがもたらす明るい未来はもうすぐそこまで来ています。本連載を機に多くの方がロボットに関心を持っていただけたら幸いです。

【お役立ち情報：2023サイバーセキュリティ対策講座を開催しました。】

2023サイバーセキュリティ対策講座を2月22日（水）に実施しました。この講座は、セキュリティ対策における様々な分野のプロフェッショナルから、サイバー犯罪等の情勢、対策のノウハウ、万一被害を受けてしまった場合の備えなどを学んでいただこうと年3回、東京・東海・近畿事業推進部で合同開催しています。

今回は160名を超える方からお申し込みいただきました。当日は以下の内容でみなさんに学んでいただきました。

2月2日～3月18日までは、サイバーセキュリティ月間でした。

情報セキュリティを担保するのは、最後は「人」です。

こういう機会に事例に触れたり、基本を再確認して情報セキュリティに対する意識を呼び起こしていきたいですね。そして被害者はもちろん加害者にもならないようにしましょう。

2023サイバーセキュリティ対策講座
2023.2.22(水)

次回は6月の予定です。募集は各支部のHPをご覧ください。（近々掲載予定）

<講座内容>

【第1部】サイバー空間をめぐる脅威の情勢とサイバーセキュリティ対策

講師：警視庁サイバーセキュリティ対策本部 担当官

【第2部】総務省が取り組むサイバーセキュリティの最前線と対策

講師：総務省サイバーセキュリティ統括官室 調査員

【第3部】基本から再確認！2023情報セキュリティ講座

～今日からすぐできるセキュリティ対策の基礎知識を習得～

講師：近畿事業推進部長 川畑 文雄



#サイバーセキュリティは全員参加
サイバーセキュリティ月間
2023年2月1日～3月18日

サイバーセキュリティ対策9か条

PCに不正アクセスされた...

知らないうちに自分のアカウントにログインした形跡が...

OSやソフトウェアは常に最新の状態にしておこう

パスワードは長く複雑にして、他と使い回さないようにしましょう

気づかぬうちにアカウントを乗っ取られた...

本モノだと思ったのに偽モノだった...

多要素認証を利用しよう

偽メールや偽サイトに騙されないように用心しよう

添付ファイルを開いたらウイルスに感染した...

見られたくない情報を見られてしまった...

メールの添付ファイルや本文中のリンクに注意しよう

スマホやPCの画面ロックを利用しよう

ある日突然、大切なデータが消えた...

スマホやPCを盗まれた...

大切な情報は失う前にバックアップ(複製)しよう

外出先では紛失・盗難・覗き見に注意しよう

これはウイルス?!詐欺?!どうしたらいいの...

困った時はひとりで悩まず、まず相談しよう

(一話40秒程度の参考になる動画です。以下をクリックしてください。)
[サイバーセキュリティ対策9か条の動画を見る](#)

<経営者のための講座です。ぜひご参加ください。>

- | | | |
|-----------------------|----------|----------|
| ○経営者のためのZoom体験講座（初級編） | 4月18日（火） | 絶賛募集中 |
| ○経営者のための情報セキュリティ講座 | 4月24日（月） | 絶賛募集中 |
| ○経営者のためのICTリテラシー講座 | 5月24日（水） | まもなく募集開始 |

【お役立ち情報：最新のIoT、AIの動向を紹介します。】

3月某日、高槻市にあるコニカミノルタのFORXAI（フォーサイ）というLABを訪問しました。いま企画している「**経営者のためのICTリテラシー講座**」の打ち合わせのためです。こちらでは、最新のIoT技術とAIについて研究されています。当日は、FORXAIの説明をして頂いた後、実機展示を見せて頂きました。写真を掲載できないのが残念ですが、それは5月24日の講座の中で中継動画でご紹介したいといま交渉中です。画像を使ったIoTというと皆さん、なにを思い浮かべますか。不良品検出、顔認証でしょうか。いえいえ、いろんなところで使われているのです。しかもAIを使っています。FORXAIは画像IoTのプラットフォームなのです。事例を少し紹介します。

- ・次世代型ロボットに、骨格検出技術(人の映像を骨格で表示することができます)を使って、人がしゃがみこんでいるとロボット(AIで判断するのです)が近づいてくるんです。凄いです。
- ・食品工場では、1人作業が多く、事故があった時の迅速な対応が求められます。そこにもこの骨格検出技術とAIを掛け合わせて転倒したとAIが判断したらアラームや責任者への連絡がいく仕組みがあるのです。これも凄いと感じました。
- ・介護施設では人手不足でカメラを使ってベッドから落ちたらすぐ知らせる仕組みもあります。ここにもAIが活躍しています。プライバシーに配慮できるのがいいです。
- ・コニカミノルタでは駅伝チームをもっていますが、選手のフォームを骨格技術を使って、一般向けに効率的なフォーム指導をするものもあります。

この講座は、**経営者の視点でお役に立つ講座で5月24日(水)開催**に向けて準備中です。

準備が整い次第、各支部のHPに案内を掲載しますのでどうぞご参加ください。

AIといえば、最近**ChatGPT**が注目を集めていますが、お使いになったことがありますでしょうか。大学の論文は上位、アメリカ司法試験合格、医師合格というレベルです。世界中のデータベースを使っていますからこの領域では人間はかないませんね。

使い方は簡単で、OpenAIのHPで登録したらすぐ使えます。大前さんのBBTで使っているAirCampusでも3月14日から実装して使っています。チャット形式で、口語で質問をいれるとちゃんと回答が文章で返ってくるのです。質問の仕方によって、より自分が求めるものが得られます。

「電話対応コンクールの参加勸奨の文章を考えてください」と質問しました。

答えは、以下のとおりです。

「電話対応コンクールに参加しませんか？」

お客様への対応は、企業や組織にとって非常に重要な要素です。そのため、電話対応のスキルを磨くことは、ビジネスにおいて大変役立ちます。

そこで、私たちは電話対応コンクールを開催いたします。このコンクールに参加することで、現在のスキルを評価し、改善するためのアドバイスを得ることができます。

更に、優勝者には豪華賞品とともに、賞金が贈られます。また、参加者全員には参加賞が授与されますので、ぜひ多くの方に参加していただきたいと思っております。

この機会に、自分のスキルを評価し、向上させるためのアドバイスを得てみませんか？是非参加して、自分自身の成長の可能性を広げましょう！

いかがでしょうか。一部、「賞金が贈られます」など誤った情報もありますが、参加勸奨文章になっていますね。

昨年5月に「大前さんに第四の波を学ぼう」を開催しました。あの中で2025年までに世界の雇用が8,500万人分失われ、9,700万人分雇用が生まれる、2035年～2045年にシンギュラリティが到来と学びました。いまGAFAMは大量解雇してますね。シンギュラリティも予想より10年早くなるのではないかと最近大前さんは言われています。**ChatGPT**は、使い方次第で企業の大きな武器になりますが、使い方を誤ると自分で考えない従業員を生み出しかねません。まずは試してみることからですね。使ってみて、今後の事業にどう活かせるのか考えてみませんか。

<原稿大募集しています！>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。

いつでも待ってま～す。写真等も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp (川畑) までファイル(A4)を送ってください。

セキュリティの最新情報も
アップデートできます。
支部HPにて絶賛募集中！

あの講話がこの価格で聞けるなんて。

ユーザ協会
限定特別価格

BBT研修プログラムはコチラから



撮影/大田真三(小学館)

この値段でこのパフォーマンスにびっくりです。

あの大前研一さん率いるBBTの研修がユーザ協会会員様特典として利用いただけるようになりました。

BBTのコンテンツの中から、協会会員様のために特に選びました。
「見て学ぶ」と「参加して学ぶ」があります。

見て学ぶ

ビジネス講義映像

ブロードバンド・ラーニング(BBL)

詳細・お申込みはこちら



<経営者講義 - 19 講座>

定価33,000円(税込)を当協会
会員様は**1割引29,700円(税込)**で
ご視聴いただけます。

どの講座も大前研一さんの講演以外に業界の最先端に行く経営者の
講演が盛りだくさん！ これからの経営のヒントがたくさんあります。

参加して学ぶ

詳細・お申込みはこちら

5,500円(税込)
でご視聴いただけます。



みんなで脳に汗をかこう！！

ビジネスアウトプットGYM

いつでも学べる動画で「インプット」し、
LIVEトレーニングで「アウトプット」

まるでスポーツジムに通う感覚で、
ビジネススキルをオンラインで鍛える

詳細はこちら！

<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>



<近畿 6 支部限定プレゼント>

新規ご入会様、既存会員様

本特典ご利用で「DX革命(大前研一著)」を
プレゼントいたします！

後日、連絡責任者様へ送付させていただきます。

